令和元年度「話すこと［やり取り］」を通して、即興的なコミュニケーション能力を育成する外国語科（英語）研修講座〔中・高連携講座〕実施要項

1　対象校種

幼	小	中	高	特	教委等
―	―	352	452	552	―

2　目　　的　　外国語科（英語）を担当する教員としての専門性を高めるため、「話すこと[やり取り］」を通して、即興的なコミュニケーション能力を育成する指導と評価について研修する。

3　育成指標　　(教)授業計画、(教)授業実施、(教)評価、(教)授業研究・改善

4　期　　日　　令和元年９月２５日（水）

5　会　　場　　やまぐち総合教育支援センター
（山口市秋穂二島 1062　セミナーパーク内　一般研修棟　１０３研修室）

6　担　　当　　教育支援部　住友優子　（TEL 083-987-1190　FAX 083-987-0209）

7　日　　程

時　　間	内　　容	講　師・指導助言者等
9:40～ 9:50	開講行事	
9:50～12:00	(事例発表・研究協議) 「話すこと[やり取り]」を通して、即興的なコミュニケーション能力を育成する授業の実際 ー模擬授業を通してー	周南市立富田中学校 教　諭　野坂良太 山口高等学校 教　諭　中野充代 総合教育支援センター教育支援部 研究指導主事　住友優子
13:00～15:50	(講義・演習) 「話すこと[やり取り]」を通して、即興的なコミュニケーション能力を育成する授業の在り方 ー指導と評価の一体化をめざしてー	広島大学大学院教育学研究科 准教授　樫葉みつ子
15:50～16:00	閉講行事	

※会場位置、欠席届及び講座実施に係る緊急情報等については、やまぐち総合教育支援センターのウェブサイト（http://www.ysn21.jp/）で御確認ください。ウェブサイトで確認ができない場合は、やまぐち総合教育支援センターへお問合せください。

8　携行品について
午前の事例発表・研究協議で使用しますので、担当している授業で現在使用中の教科書を１冊御持参ください。

山口県教員育成指標【教諭】

山口県では、教員に求められ、期待される資質能力を「山口県が求める教師像」に示しています。

山口県が求める教師像～未来を担う子どもたちにあなたの熱い情熱を！～

◎豊かな人間性と人権尊重の精神を身につけた人　◎強い使命感と倫理観をもち続けることができる人
◎児童生徒を共感的に理解し、深い教育的愛情をもっている人　◎幅広い教養と専門的知識、技能をもっている人
◎豊かな社会性をもち、幅広いコミュニケーションができる人　◎常に自己研鑽(さん)に努める意欲とチャレンジ精神のある人

「山口県が求める教師像」に示す資質能力は、教職生活を支える土台となるものであり、これらの資質能力をより確かなものとするために、教職生活全体を通じて充実・深化させていくことが大切です。
本指標は、「教職員人材育成基本方針」に示されたキャリアステージごとの役割と求められる資質能力に沿って、教員が高度専門職としての職責・経験等に応じて身に付けるべき資質能力を具体化し、研修等を通じてその計画的・継続的な向上を図る際の目安を示したものです。

キャリアステージ		採用時	若手【自立・向上期】	中堅【充実期】	ベテラン【発展期】
求められる資質能力		山口県の掲げる教育目標を理解し、熱い情熱をもって教育活動を推進する意欲とチャレンジ精神をもっている。	教育に対する強い使命感や情熱をもち、学校に活力を与えるとともに、学習指導や生徒指導等を行う際に必要な基礎的な知識や技能を基盤とした実践的指導力を発揮している。	専門分野の力を伸ばすとともに、身に付けた高い専門性を生かし、ミドルリーダーとして学校運営の一翼を担っている。	高い能力や専門性を発揮し、学校における様々な校務等を通して、学校運営に積極的に参画したり、若手や中堅の教員の人材育成に取り組んだりしながら、企画力・調整力を発揮している。
区分	項目				
学習指導に関すること	授業計画	○学習指導要領に示された教科等の目標及び内容並びに児童生徒の実態に即した授業構想の重要性を理解している。	○教科等に関する専門的な知識・技能を活用し、児童生徒の実態を踏まえて、ねらいを明確にした年間・単元・単位時間の授業を計画している。 ○授業のねらいを踏まえて適切な教材研究・開発を行っている。	○児童生徒の発達の段階や習熟度、学校の重点課題等を踏まえ、創意工夫を凝らした授業を計画している。 ○授業のねらいを踏まえた教材研究・開発を行い、他の教員と共有している。	○授業計画の作成について、他の教員に対して適切な助言を行っている。 ○教材研究・開発の在り方について、他の教員に対して適切な助言を行っている。
	授業実施	○基本的な指導方法や教科等の特性に応じた指導形態等について理解している。 ○ＩＣＴを始めとした教材・教具の活用など、効果的な授業の在り方について理解している。	○基本的な指導方法や場面に適した指導形態等を理解し、児童生徒の反応を見ながら個に応じた指導を行っている。 ○授業の中でＩＣＴ等を積極的に活用した指導を行っている。	○指導方法や指導形態等を工夫し、児童生徒の反応を生かしながら主体的な学習を促す指導を行っている。 ○授業の中でＩＣＴ等を効果的に活用し、児童生徒の学力向上につなげている。	○指導方法や指導形態等について、他の教員に対して適切な助言を行っている。 ○ＩＣＴ等の活用について、専門性の向上を図りながら、他の教員に対して適切な助言を行っている。
	評価	○学習評価の考え方を理解している。	○指導と評価の一体化について理解し、評価規準を設定している。 ○指導と評価の計画に従って児童生徒の学習状況を把握し、次時や次単元の指導に生かしている。	○評価の信頼性を高めるために、評価規準や評価方法の改善を図っている。 ○評価を児童生徒の学力の向上を図る指導に生かしている。	○指導と評価の計画に従って、信頼性の高い評価を行っている。 ○他の教員に対して、評価の改善につながる適切な助言を行っている。
	授業研究 授業改善	○模擬授業や教育実習における授業実践等の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。 ○授業改善の視点としての主体的・対話的で深い学びの実現の重要性を理解している。	○日常的に授業を公開し、他の教員や地域の方々の指導・助言や授業評価を受け、自己のよさや課題に気付き、授業改善に努めている。 ○主体的・対話的で深い学びについて理解し、授業を実践している。	○校外の教員等を対象とした研究授業を積極的に行い、授業評価も踏まえながら授業力の向上に努めている。 ○学習目標に応じて適切な授業形態を用い、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行っている。	○他の教員に対して、助言を積極的に行い、授業研究や教材開発に取り組む雰囲気づくりに努めている。 ○児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について、他の教員に適切な助言を行っている。